

◆ 教科の目標

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話す能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。
- ・目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。
- ・目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章を書いている。
- ・目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。
- ・伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

◆ 評価の方法

学習態度 発表 音読 情報収集 作品 ノート テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風切るつばさ ○ 表現をくふうして書こう ○ イースター島にはなぜ 森林がないのか ○ 学校の良さを宣伝しよう ○ ばらの谷 ○ 意見を聞き分けよう ○ 新聞の投書を読み比べよう ○ 「わたしの意見」を書こう ○ 漢文を読んでみよう ○ 問題を解決するために 話し合おう ○ 資料を活用して書こう ○ 毛筆(湖・成長・あこがれ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。 ・いろいろな表現のくふうを知り、表現の効果を考えて書く。 ・筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。 ・根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 ・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。 ・読み手を説得するための工夫を読み取る。 ・書く事柄を整理し、構成をを考えて、意見文を書く。 ・漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 ・自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。 ・資料を効果的に使って文書を書く。 ・組み立て方、筆順と字形、字配りに気をつけて、毛筆で書く。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海のいのち ○ 子供句会を開こう ○ 未来に生かす自然のエネルギー ○ 深めよう、言葉の世界 ○ ヒロシマのうた ○ ふるさとの良さを しょうかいしよう ○ 伝えよう、 大切にしたい名言 ○ 豊かな日本語の 使い手になろう ○ 君たちに伝えたいこと ○ 毛筆(世界平和・希望・ 伝統を守る・未来の夢) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことをまとめ、話し合う。 ・表現を工夫して、俳句や短歌を作る。 ・資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。 ・資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。 ・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 ・目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 ・紹介したいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書く。 ・目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書き、伝えたいことを明確にして、話の組み立て方を工夫して話す。 ・筆者の意見と具体例の関係に注意して2つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに、自分の考えを書く。 ・文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 ・点画のつながり、筆順と字形に気をつけて、毛筆で書く。